

質問の件名及び質問の趣旨(質問時間)	答弁を求める者
<p>1 あるべき介護の姿について (40分)</p> <p>急速な高齢化の進展を背景に、社会全体で高齢者の介護を支える仕組みとして始まった介護保険制度は13年が経過しました。この間、地域密着型サービスの基盤整備が進み、制度自体も予防重視型システムへの転換など、介護保険制度は高齢者の暮らしや介護を支える仕組みとして定着しています。</p> <p>現在、介護の問題はあらゆる地域、あらゆる年代の人々の日常に関わっているといえます。</p> <p>2012年度の改正時には「介護予防・日常生活支援総合事業」が始まり、当市も介護予防の総合的なマネジメントに取り組んでいます。</p> <p>高齢者の日常生活は誰かが支えなければならないとは、誰もが思うことであり、見守りや声かけといった地域の繋がりも重要です。</p> <p>過日、新聞でも報道された社会保障制度改革国民会議の報告書によれば、若い世代も含めた「全世代型」の社会保障への転換、重点化と効率化の観点から、介護度が低い要支援の高齢者へのサービスを介護給付から切り離すことや介護の自己負担の引き上げなどが含まれています。</p> <p>制度は完璧なものではなく、修正を加えながらより良いものにしていく「走りながら考える」とも表現された介護保険制度ですが、家族介護から大きく介護の意識を変えた、「介護の社会化」を後退させないためにどのように対応していくのか市の姿勢について伺います。</p> <p>(1) 介護予防・日常生活支援総合事業の目指すもの  ア 地域包括支援センターの役割について  イ コミュニティとの連携について</p> <p>(2) かかりつけ医の普及について  ア 市内での実態について  イ 今後の取り組みについて</p> <p>(3) 社会保障制度改革国民会議の答申について  ア 要支援利用者への影響予測  イ 財政影響額予測</p> <p>(4) 第6期介護保険事業計画の方向性について  ア 社会保障制度改革国民会議答申の影響  イ これからの望まれる介護について</p>	市長

質問の件名及び質問の趣旨(質問時間)	答弁を求める者
<p>2 学校給食の意義と役割について (15分)</p> <p>平成23年度第3回定例会で、旧学校給食センターの状況とこれまでの取り組みの成果をどう生かすのかという観点で更新施設について質問いたしました。</p> <p>子どもたちの食生活をめぐる問題が顕在化する時代に、学校給食は、子どもたちの栄養、楽しみであるだけでなく、食文化を伝える重要な食育の役割を担っています。前回は、鶴ヶ島産の野菜の取り組みをはじめ、遺伝子組み換え食品や放射能などの食材への対応について伺いました。</p> <p>9月から、鶴ヶ島市学校給食センター更新施設での給食が始まります。次世代を担う子どもたちが食べる学校給食、そこで使われる安全な食材の継続的な確保についてどのような体制をとられるのでしょうか。</p> <p>また、環境への配慮を願い、残菜の処理と排水を考慮した石けんの使用について改めてうかがいます。</p> <p>(1) 安全な食材の継続的な確保について  ア 食材及び加工品のトレーサビリティ（履歴管理制度）について  イ TPP 参加後の影響への配慮について</p> <p>(2) 環境への配慮について  ア 残菜の有効活用について  イ 大谷川への排水を配慮した石けんの使用について</p>	<p>市長 教育委員会委員長</p>